



茨城県県南教育事務所

し な ん

「児童生徒のために
学校のために
市町村教育委員会のため

茨南だより

3 S

察知
誠意
スピード感

NO. 10 2022. 2. 2

多面的・多角的な視点での人材育成を

県南教育事務所長
加治 行雄

年間3000万人の来場者を誇る企業が、オリエンタルランドです。この企業は、東京ディズニーリゾートを有し、私たちに様々な夢を与えてくれています。ディズニーでは清掃担当スタッフが、プライドをもって仕事をしていることで有名です。この仕事は一日中会場の清掃をするので、以前は人気がありませんでした。しかし、今では人気の職種となりました。その変化に大きな影響を与えた要因は、何だったのでしょうか。それは、清掃業務は自由に会場内を動き回れるので、ゲストの困り感を解消してあげられる大切な役割があることを伝えたことです。そのことで、職員はモチベーションを高め、ゲストに楽しんでもらうミッション達成のために、様々なアイデアを出しあうようになりました。落ち葉でミッキーマウスの顔を作ったり、ローラーブレードに乗って清掃したりするなど、業務のショーアップ化に大きな役割を果たしました。

学校における人材育成も、多面的・多角的な視点が必要になります。日々の教育活動の中で、学校組織を生かしながら、様々な視点で人材育成をしていただければ幸いです。

総務課

手当の届出や申告漏れはありませんか？



扶養手当は、扶養認定を受けている配偶者やお子さんがアルバイト等で収入を得ている場合、月額108,333円を超える収入がある月は、翌月の扶養手当の受給ができなくなります。

年度を超えてから収入超過が発覚すると煩雑な返金手続きを要することになりますので、アルバイト等の有無や支給明細書を『毎月必ず確認し、明細書の写しを事務職員に提出』し、扶養手当を適切に受給するようにお願いします。

また、通勤手当や住居手当についても変更が生じた際は、速やかに事務職員に届出をお願いします。

学校教育課

校内研修に活用してください



1人1台端末の導入により、管内の多くの小・中・義務教育学校では、端末を活用した授業が進められていると思います。学習の導入にYouTubeの動画を活用する、予習や復習にオンラインシステムを活用するといった方法以外にも、出席することができない児童生徒に授業を配信している学校もあるかもしれません。その際、私たちが日頃行っている対面授業では問題にならなかったことが、インターネットを介することで「著作権法」に触れてしまう可能性があるということをご存知でしょうか。

〈このようなことは、ありませんか？〉

- ・ 教室で授業を行う際に、教科書やインターネット上に掲載されている図や文章をもとに資料を作成しました。これら資料を、児童生徒の端末にインターネットで配信しました。
- ・ 出席することができない児童生徒に、朝の会の様子を配信しています。朝の会で紹介した新聞記事が見やすいように、記事が載っているページを大きく映して配信しました。

県南教育事務所では、校内研修支援として「1人1台端末の活用上の課題 ～著作権を知っていますか？～」を2月28日(月)にzoomを活用した希望研修として実施します。1人1台端末を活用する上で知っておいてほしい著作権等に関する基本について、参加型のオンライン研修とする予定です。参加方法などの詳細は、1月25日付【南教第664号】でご確認ください。

この機会に、著作権等について、一緒に考えてみませんか？

教育課程（学習内容）の確実な実施を！

～学び残しがないように～

1月12日（水）、13日（木）に行われた「県学力診断のためのテスト」については、円滑な実施への御協力ありがとうございました。現在各校では、今年度の成果と課題について評価するとともに、改善策についての検討がされていることと思います。

2月10日までリモート学習を実施する学校もあり、今年度の教育課程（学習内容）の実施に苦慮していることと思いますが、学び残しがないように、組織的なチェック体制を確立して確実な実施をお願いいたします。



オンラインを活用した研修

令和3年度教育課題に対応するためのリーダー養成研修講座（第4日目）

1月20日（木）に、「教育課題に対応するためのリーダー養成研修講座（第4日目）」を実施しました。集合研修や学校内でのOJT研修など、多様な研修を実施してきた本講座も、この日をもって全日程が終了となります。

最終回となる第4日目は、県南教育事務所に参集して1年間の実践について発表していただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、昨年度に引き続きオンラインに切り替えての実施となりました。この1年で、オンラインを活用した研修に参加する機会は多くなりましたが、PowerPoint等を提示しながら発表する機会は初めてという先生もいらっしゃいます。しかし、大きなトラブルもなく、臨機応変に対応しながら発表する姿からは、先生方がそれぞれの学校において、ミドルリーダーとして活躍していることが感じられるものでした。

実践発表からも、ミドルリーダーとしての役割を自覚し、メンティー（OJT対象者）に積極的に関わり、成果を挙げていることが分かりました。とても頼もしく感じました。研修は終了しますが、今後もミドルリーダーとして様々な場面で活躍することを期待しています。

「理科いばらき基礎力UP問題」及び「理科活用型授業案」の活用を！

～いつでも、どこでも、だれでも、1人1台端末上でも自由に使えます～

令和3年度理科学力向上推進プロジェクトとして「理科いばらき基礎力UP問題」及び「理科活用型授業案」がまとめられ、教育情報ネットワーク上に掲載されました。「理科いばらき基礎力UP問題」は、小学校4～6年生、中学校1～2年生の学習範囲で、単元毎に重要な用語を確認する5問程度のミニテストの形式でまとめられています。PDF（A4版）のデータで問題がアップされていますので、学校の授業の振り返りや個別の課題学習、単元末確認テストにおいて、1人1台端末へ問題をダウンロードしての活用、紙媒体で印刷しての活用など、さまざまな活用が考えられます。「理科活用型授業案」は、小学校5年生及び中学校2年生の教科書の指導内容の一部について、ICTを効果的、効率的に使う個別最適な学び・協働的な学びの具体策としてまとめられています。いずれも、基礎的・基本的内容の習得、問題解決の力の育成につながりますので、「フォローアップ動画【理科編】」と併せて、ぜひご活用ください。

掲載場所① 教育情報ネットワーク → 教育用コンテンツ → 学力向上推進プロジェクト → 【理科】いばらき基礎力UP問題

掲載場所② 教育情報ネットワーク → 教育用コンテンツ → 学力向上推進プロジェクト → 活用型授業案

「効果的な指導法プレゼンテーション大会」が開催されました

令和3年度いばらきサイエンスキッズ育成事業の一つとして、「効果的な指導法プレゼンテーション大会」が令和4年1月28日（金）にオンラインにて開催されました。本大会は、教員の指導力向上と児童生徒の学力向上に資する目的で、理科学習における自作教材やICT等を活用した指導の好事例を募集したものです。当日は、全県で100名を越える参加者があり、優秀事例に選出された7つの好事例がプレゼンで紹介されました。県南地区からも、たくさんの先生方から、実践事例の応募があり、優秀賞を受賞された代表2名の先生にプレゼンターとしてそれぞれ教材部門、ICT活用部門でご発表いただきました。

○教材部門：つくば市立春日学園義務教育学校 大村 千博 教諭 「大気汚染調査の自作教材」

○ICT活用部門：つくば市立手代木中学校 大坪 聡子 教諭 「1人1台端末によるデジタルルーブリック表の活用等」

今後の理科教育に活かすことのできる素晴らしい実践でした。ご発表ありがとうございました。